ጥ ተሀ / -	十尺				土化	やにロ外	可凹			江太阳江	LACT	マグド会 二支休月園	
保育理念		神様を愛する子ども 人を愛する子ども 土(自然)を愛する子ども				中で、一人ひとりの子ども 大切にし、心と体が健康 育成します。		保育目標	・一人ひとり ・キリスト教 ・戸外遊び ます。 ・音楽や言: ・国際時代 ・地域から	・音楽や言葉への興味・関心を意欲的に持ち、豊かな心、創造性、話を聞く姿勢を養います。 ・国際時代に生きる子ども達に必要な、感性豊かな人間を育てます。 ・地域から信頼される保育園をめざし、積極的に子育て支援を行います。 ・障害の有無にかかわらず、それぞれの幼児のもつ優れた可能性を十分に引き出し、伸ばし			
	社会的責	任	人権尊重		説明責任		£		情報保	護	苦情処理·解決		
尊重し保育 図り、保育の な説明をす	を行う。地域社会 の内容を適切、れ	し、子どもの人格を 会との交流や連携を っかりやすく応答的 適切に扱う。保護者 る。	・連携を な答的 もてるように努める。			地域社会との交流や連携 や地域社会に、当該保育 の内容を適切に説明する。		情報 装護者 し、気 保育 徹底 どもの	な理由なく利用者は を漏らすのない を期的に研修を行う し、小学校・その他 の情報提供を行う 書によって子どもの。	ヽよう、職員に対 。情報の管理を □機関に対して子 学には、あらかじ	に「対 管理を して子 らかじ 苦情対応窓口、担当者、苦情解決責任者、第三者委員の設置 を行うとともに、苦情解決体制を全職員・利用者に周知する。		
年齡別保育目標	・一人ひとり ・保育者との		の信頼関係を深める。 安全な環境の中で身体	Jズムで生活し、安心して過ごす。		い運動機能や探索意		・遊び		・生活の流れにおおよその見通しを持ち、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを育てる。 ・遊びや体験を通して、いろいろなことに興味・関心を持ったり、自分を表現する。 ・保育者や友だちと関わり、遊びを通して相手の気持ちにも気づいていく。			
	1歳児	・好きな遊びや探索活動を一 ・保育者と信頼関係を築き、 ・保育者に気持ちや思いを身				5.		支 児	遊びや生活の中る。集団生活を通じ	けかを発揮しながら取り組む中で、やり遂げた喜びを味わい自信をもつ。 いで、友だちと考えを出し合い、工夫しながら挑戦したり、遊びを広げていったりす で、自律に向かう環境をつくる。 ちえを言葉で相手に伝えられるようにする。			
	2歳児	とする。 - 興味のあることの模倣をし、 み、イメージを共有して遊ぶ・・ 伸び伸びと個性を発揮し、		かでできることが増え、身の回りの、 、保育者や友だちと一緒に言葉で の気持ちを言葉や動作で表現し を使う運動や、指先を使う遊びを		やり取りを楽し 5 たうとする。		熋児	る 。			心を育て、協力し合う大切さを知る。 中でやり遂げる達成感や満足感を味わう。 心をもち、豊かな心情や知的好奇心、探究心を高め 安全への意識をもち、自ら主体的に行動する力な	
						保育	の内容						
	年齢		O歳児	1歳児		2歳児			3歳児	4歳児	<u>. </u>	5歳児	
養護	生命の保		Eリズムを大切にし、生 ÷十分に満たす。	生理的欲求を満たし、生活リ ズムの安定を援助する。		健康的な生活リズムの定え を援助する。		健康的な生活習慣を知り、E ら行おうとすることを援助する。		健康で安全な生活習慣を自ら行い、できる喜びを感じられるよう援助する。		健康で安全な生活習慣を身につけ、主体的に行動できるようにする。	
	情緒の安	特定の保育者の応答的なかり・ふれあいの中で、愛着関係 築く。		甘えや欲求に共感して ることで、安心して自分 持ちを表現できるように る。	で、安心して自分の気 日口土旅ど		することで自 心して人や		け止めることで、安 環境への探索欲 いけるようにす	の探索欲 体々な体験から自己目		自己肯定感を確立し安定的・主体的に行動するとと もに、他者も尊重していく。	
教育	健康		たり、移動したり、歩き 由に動くことを喜ぶ。	歩行が完成し、動くことを楽しむ。身の回りのことを保育者と一緒にやろうとする。		歩く、走る、跳ぶなど、基本な動作ができるようになり、 全身運動を楽しむ。生活の 見通しを持ち、身の回りのことを自分からやろうとする。		する気持ちをもつ。走る、もぐ		こ、王牙を使り運動に挑戦り		基本的習慣や態度を身につけ、自ら進んで行動する。 活発に体を動かし、様々な運動に目標をもって 挑戦する。	
	人間関係	新定の保育 く。	育者との愛着関係を築	甘えや欲求を認める大人と のふれあいを楽しむ。友だち や保育者に興味を持ち、真 似をして遊ぶ。			を知る。保	ら、保育者の仲立ちの元、友 。保 ちと思いを伝えあって遊ら 簡単なルールを守って遊 とする。		自分の思いを伝え、相手の 思いも聞いたりして会話を楽 しむ。思い通りにいかない経 験から、相手の思いに気づ いていく。		友だちの思いも尊重し、協力しながら遊ぶ。	
	環境	身近なもの 触れたりす	に興味を示し、見たり る。	好きなおもちゃを見つけ、遊びこむ。身近な自然を見つけ、探索遊びを楽しむ。		が近な自然や事象 ち、探索、模倣を のの特性(水・砂 興味を示し、触れ て楽しむ。	して遊ぶ。 ・・泥など)	い、その特徴に興味を持 身の回りのものの色、量		とする。体験を通じてものの		生活の中で物の性質や数量、図形、文字、時間などに関心をもつ。社会や自然の不思議に気づき、試したり、発見したり、探究的に関わる。	
	言語	語・片言で	8りかけに、表情や哺 応えようとする。 指さし 保育者に伝えようとす	に喜び、自分の思いを片言 や身振りで伝えようとする。 絵本や歌を楽しみ、様々な言		したり、遊びの中で簡単 葉でやりとりをする。 絵本				かり、使おうとする。絵本や 物語からイメージを広げて遊		共通の目的に向かって友だちと話し合う中で、相手 の話すことを聞こうとする態度を身につける。遊び や生活の中で文字や記号に親しむ。	
	表現	止め、感じ	で出会うものを心で受けたことを全身で表す。音 ひ地良い歌を聞くと自。	生活の中で様々なものや素材に触れ、指先や体を使って表現する。リズムや歌に合わせて模倣したり、自分で感じたように表現する。		後々な事象や出来 イメージを広げた りする。感じたま る喜びを味わう。	こり、深め まに表現	たりして遊ぶ。感じたり考え		感じたこと、考え、経験を、 色々な方法で表現する。 友だ ちとイメージを共有しながら、 様々な表現を楽しむ。		自分のイメージに合わせて素材などを選択し、工夫 して表現する。 友だちと一緒に表現する過程を楽し みながら、豊かな感性を育む。	
食 育 ———	食を営む力基礎	カの 事をする。- わせた離乳 を育てる。	わせた離乳食を進め、食べる意欲 ログエスをスターにし、ほうこの 「木いじ。日本は水がの水を水 り、食事のマナーや食具の使 エール・カー・ファット 物と体の関係に関心をもつ。									食べ方や食事のマナーを身につけ、自ら行う。食べ物と体の関係に関心をもつ。	
	健康管理	健康及び 年2回の 年1回職員	建康及び発育発達状態の定期的、継続的な把握。 #2回の嘱託医のよる内科検診と、年1回の歯科検診の実施。 #1回職員の健康診断及び、毎月の検便(栄養士・調理員・調乳担当者及び食事介助をする職員) 年間保健指導計画の作成と実施。										
環境·衛生管理			温度・湿度・換気・採光・音などの環境を適切に保持。施設内外の設備・用具等の清掃及び消毒。 感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有。										
安全対策·事故防止			施設内外の設備・用具等の安全管理及び自主点検。毎月消防訓練の実施。 子育てに関する情報提供の場や交流の機会を設ける。また相談・支援を行うことで子どもと保護者を支援する。										
保護者への支援		保護者同	士のネットワーク構築	を助ける。	。また相	□ਲ・又抜を行う	ことで子ど	. もと味護者	ョざ又抜りる。				
地域等への支援		育児相談さんあいま	地域の乳幼児を対象とした園庭解放の実施。 育児相談、実習生等の受け入れ、保育見学。 さんあいまつり、子育て講座、敬老の日										
地域行事への参加		第46回9者	大凧マラソン 第46回9都県市合同防災訓練(フィナーレ)										
研修計画		園外研修·	日々の保育計画・実践・評価のサイクル確立のための研修 園外研修への計画的な参加 小学校見学を通して、小学校に期待をもてるような										
小学校との連携		学びの接続 「幼児期の	学びの接続を図る。 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への理解を深め、一人ひとりの育ちを支援する。										
自己評価			年2回の自己評価 年1回の面談										